

一般質問発言通告書

発言順位 9番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年2月14日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 15 番 高田 康子

質問事項1	避難所における環境問題とインフラ設備について
具体的内容	三島市では、自主防災の夜間開設訓練を、昨年6月から7月にかけて実施しました。まだ夏本番ではないその時期の体育でも、灼熱の中にいるほどの暑さでした。19時の始まり21時に終了するものの、各自主防災の方々も暑さで倒れそうなほどでした。スポットクーラーや巨大扇風機はあるものの、焼け石に水です。指導員の方は毎年行っていますが、毎年熱中症の症状が出る人もいると聞きました。国の令和6年度補正予算の概要の中に公立学校の整備「体育館の空調779億円を含む。」という内容で2096億円の予算の項目があります。県内でも焼津市、吉田町などで導入が進み、先日は磐田市教委、小中体育館に空調設営へ、避難所の環境改善という記事がありました。防災の避難所のみならず教育現場においても、夏季など暑さが厳しく、体育館において熱中症になってしまう症状が出る子どももいるかと思えます。
	1 過去5年にさかのぼり、三島市内の小中学校の暑さ指数による、体育館での授業の中止、もしくは体育館の使用中止や、体育の授業などの際、熱中症の症状になった生徒の数は。
	2 この状況を考えると体育館には何かしらの対応が必要だと考えるが、冷暖房や断熱材など国の予算もある中どのように考えているのか。また、今現在の体育館などの冷暖房の状態やそれに対する市の見解はどうなっているのか。
	3 公立小中学校の体育館の空調整備の予算に関しては令和15年までの継続支援予算と言われている。長期計画としての市の見解を問う。
	4 避難所のインフラ設備は複数で賄うのが良いと考えるが、市の見解を問う。
	5 災害時において自宅避難でも、複数の生活インフラを用意することは必須となっているが、このことを踏まえて三島市の公共機関によるエネルギー使用に関しての見解を問う。
質問事項2	ダイバーシティ・弱者のための避難所運営
具体的内容	三島市の「避難所運営基本マニュアル」は東日本大震災の教訓を生かし高齢者、障がい者、女性等に配慮し策定し、毎年、避難所開設訓練や様々な会議での意見を踏まえ更新していると三島市のHPに記載され、マニュアルの特性として色々なことに考慮し、かなり事細かに決められているが、ダイバーシティ・弱者のために避難所マニュアルになっているのかを問う。
	1 障がいのある方の個別避難計画に結びついている、避難行動要支援者の現状は、どうなっているのか。
	2 今、直接避難、1.5次避難などあるが、三島市はどのように考えているのか。
	3 避難所運営マニュアルにおける福祉避難所開設等の内容と収容人数、実際の当事者の状況を見比べて、今後の対応をどのようにされていくのか。
	4 避難所運営に女性のニーズをどのように取り入れ生かしていくのか三島市の見解を問う。
	5 女性は生活の一環を担っている、避難所には女性の目線が必要となってくることを考え重要部署への女性の起用は。
	6 避難所はダイバーシティや弱者に対してまだまだ程遠いイメージだと感じるが三島市の対応と見解を問う。